

江南区自治協議会
令和3年度 第3回 区ビジョンまちづくり計画策定特別部会 会議概要

開催概要

- 名称：江南区自治協議会 令和3年度第3回区ビジョンまちづくり計画策定特別部会
- 日時：令和3年12月7日（火）午後3時～午後4時30分
- 場所：江南区役所 203 会議室
- 出席委員：間島委員、今井委員、西脇委員、藤田委員、小野委員、伊藤委員
以上6名（欠席：松野委員）
- 事務局：地域総務課係長、同課主査1名
- 傍聴0名

審議内容等**1 議事****(1) ワークショップについて**

- ・事務局より11月に開催した区ビジョンまちづくり計画策定に係るワークショップで各グループがまとめた内容について説明があり、その後、意見交換を行った。

<主な意見>

- ・計画を策定する際は、伝えたいストーリーが必要。また、そのストーリーに魅力があるかが重要だと思う。
- ・人の動きに着目し、そこから魅力あるストーリーを発信できるか（外部からの動き、内部の動き住民生活）
- ・古いものをそのまま引き継ぐのではなく、今の世代が新たなもの、映えるものを加えながら、次の世代に引き継いでいくという視点を盛り込めれば。
- ・利便性を求めるだけでなく、「不便だけどそこがいい」といったものを増やしていくということも重要。
- ・江南区で農業を頑張れる状況をつくるのが大切。例えば、料理人と農家を結びつけるなど商業と農業が組み合わせることで新たな価値が生まれ、活性化につながるのでは。
- ・食材は生産地がどこかで選ぶ基準となるため、ブランド力の強化が大切。
- ・子どもが地域に関わることは増えてきているが、保護者世代が地域のことを知らない。地域への愛着を育むためにも、保護者世代も子どもとともに学ぶ機会を提供できればよいのでは。
- ・子どものうちにまちに関わることで地元への愛着、思い入れにつながり、将来的に地元・地域に帰ってくることに繋がる。
- ・計画策定や施策を実施する際には、区民やその施策のサービスの受け手について、どのような人物なのか詳細に設定するペルソナを作成し、検討していくことが大事。

(2) インタビューについて

- ・1月以降、江南区で活動、活躍している区民にインタビューを実施していく。

江南区自治協議会
令和3年度 第4回 広報紙発行特別部会 会議概要

【開催概要】

- 名称：江南区自治協議会 令和3年度 第4回 広報紙発行特別部会
- 日時：令和3年12月13日（月）午後1時30分～午後2時30分
- 場所：江南区役所 301会議室
- 出席委員：今井委員、西脇委員、上村委員、畑野委員、松野委員 以上5名
（欠席：安久津委員）
- 事務局：地域総務課主査
- 傍聴0名

【審議内容等】

1 広報紙の内容・レイアウト等について

第3回の委員からの意見に基づき作成した原稿イメージについて事務局より説明があった後、意見交換を行った。

＜主な意見＞

- ・小学生でもわかるよう、やわらかい言葉遣いを用いる
- ・印刷会社へは写真を多く渡す。
→12月の自治協議会で写真を撮影し、追加する。
- ・親善大使をナビゲーターとして用い、親しみやすい、わかりやすい紙面構成とする。

2 自治協議会の認知度向上に向けて

- ・子どもたちから自治協議会を知ってもらうため、学校を通じて傍聴してもらうことはできないか。
→事務局にて実現可能か検討する。

3 今後の予定

【19号（区だより1月16日号）】

- 印刷会社より初校入稿後、メールにて委員より確認してもらう。